

1 言葉の単位

名前

年組番

100点

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

7点×5

現役を引退した後の私の最大の喜びは、家の周囲に広がる美しい森の間を歩くことであつた。

そこには多くの植物はもちろん、小動物も見られ、さびしい日々を送る私の心をなぐさめてくれたものだった。

私は足を運びながら、これまでの人生を振り返る。いろいろな思いがあるものの、こんな美しい自然の中を今歩けるのだから、それほど悪い人生ではなかったと思えるのだった。

(1) 【段落】 この文章の段落の数を、漢数字で書きなさい。

(2) 【文】 この文章の文の数を、漢数字で書きなさい。

(3) 【文節】 — 線①を文節に正しく分けたものを、次から一つ選びなさい。

ア 美しい／森の間を／歩く

イ 美しい／森の／間を／歩く

ウ 美しい／森の／間／を／歩く

エ 美しい／森／の／間／を／歩く

(4) 【単語】 — 線②、③を単語に正しく分けたものを、次から一つ選びなさい。

ア 人生を／振り返る

イ 人生を／振り／返る

ウ 人生／を／振り返る

エ 人生／を／振り／返る

2

【文節】 次の文を、例にならって、／で文節に分けなさい。

7点×5

例 空に／大きな／月が／かかる。

3

ア 悪い／人生では／なかった
イ 悪い／人生／では／なかった
ウ 悪い／人生／では／なかつ／た
エ 悪い／人生／で／は／なかつ／た

3

【単語】 次の文の単語の数を、漢数字で書きなさい。

6点×5

① 妹が姉を追いまわす。

② 明日は晴れると思います。

③ 意外な手紙が友達から来た。

④ その荷物を取ってください。

⑤ こういう話を一度したかった。

1 言葉の単位

解答

1 (1) 三

(2) 四

(3) イ

(4) ウ

③ エ

2 ① 兄は／数学が／とても／得意だ。

② 美しい／夕日が／空を／染めた。

③ 君が／意見を／言う／必要は／ない。

④ どうして／彼は／来ないのだろう。

⑤ 外国の／人と／話して／みたい。

3 ① 五

② 六

③ 七

④ 七

⑤ 八

解説

1 (1) 段落とは、行を改めて書き出した文章のまとまり。最初の行は一字下げて書く。

(2) 文は、句点(。)などによって区切られる。

(3) 文節は、「ネ・サ」を入れて区切ることができるところを考える。

(4) ② 「振り返る」は一つの動作を意味する動詞なので、一単語である。

③ 「ではなかった」は、「でなかった」と「は」を外しても文意が同じなので、「は」が一つの助詞だとわかる。

2 文節は、「ネ・サ」を入れて区切ることができるところを考える。

③ 「ない」は、直前に助詞「は」があることから、形容詞として別の文節になる。

④ 「来ないのだろう」で一文節である。

⑤ 「話してみたい」は、補助の関係の二文節である。

3 単語分けは、文節に分け、さらにひとつの意味を示すまとまりに分けて考える。

① 妹／が／姉／を／追いまわす。

② 明日／は／晴れる／と／思い／ます。

③ 意外な／手紙／が／友達／から／来／た。

④ そこ／の／荷物／を／取っ／て／ください。

⑤ こう／いう／話／を／一度／し／たかつ／た。